

## R7 年度 部会年間計画

令和7年12月25日

部会名	主任相談支援部会
企画者	主任相談支援部会
課 題	2013年（平成25年）サービス等利用計画の作成の義務化、相談支援専門員が障がい者の生活を支えるにあたり重要な役割を担うことになる。 相談支援専門員のスキルの向上が障がい者の生活を豊かにし地域の福祉の向上に繋がる。そのためにスキルの向上や相談支援専門員が孤立しないような仕組み作りが必要である。
目 的	主任相談支援専門員には、地域における中核的な役割が求められている。その中でも、相談支援専門員に対して、地域づくり、人材育成、困難事例への対応、権利擁護・虐待防止など、総合的かつ適切な利用支援、そして援助技術の向上を目的とした指導や助言を行う役割が重要とされている。 主任相談支援専門員が求められている役割を果たすために、主任相談支援部会では福祉サービスや自立支援協議会の評価や提言、相談支援体制の整備・強化や人材育成を目的とした活動を行う。
構成メンバー	事務局：大和高田市（寺元・井口） 会長：秋本（ふわら） 副会長：矢部（青垣園） 構成メンバー 高橋（葛城社協）、大竹（もちつもたれつ）、鎌田（なつつ） 撫養（ひまわり学園）、林（愛の集い学園）
内 容	・計画相談の特定相談支援事業所（3市1町内）の相談支援専門員の育成とネットワークの構築 ・地域の社会資源（自立支援協議会も含む）の評価、施策の提言 ・相談支援体制の整備についての検討 ・相談支援専門員のアセスメント力の向上と様式の統一
達成目標	① 相談支援専門員への研修とネットワーク作り ② 相談支援専門員/初任者研修の企画運営 ③ 地域の社会資源の評価シートの検討 ④ アセスメントシートの統一とスキルアップ
活動場所・頻度	大和高田市役所、偶数月の第4木曜日
期 間	2025年4月～2026年3月
評 価	① 立命館大学生存学研究所の萩原先生を招致し、「アセスメント」についての研修会を行った。中和3市1町の特定相談支援事業所の参加があった。 ② 今年度、相談支援専門員初任者研修の実習を2日間実施した。今年度の反省を踏まえ、より有意義な機会となるよう、実施方法の再検討を行う。 ③ 「地域の社会資源」として、まず地域の特定相談支援事業所の評価を行政と共に実施していく予定である。 ④ 次年度へ持ち越し
年間予算	5万円、講師によっては追加申請あり

その他留意事項等	
----------	--